

「M情報デスク」サポート団体
 NPO 法人百人の会 救う会大阪
 秋田美三輪さんを救出する川西市民の会
 米国に原爆投下謝罪を求める会
 スパイ防止法の制定を求める会
 日教組の違法行為を追及する市民の会
 竹島を奪還する会・関西
 靖国神社に眠る御霊に感謝する会
 大阪の公教育を考える会、他

MASUKI INFO, DESK FIGHTING REPORT



No. 153
 【発行・編集】
 MASUKI 情報デスク
 増木直美
 大阪府豊中市上新田2-6-25-113
 TEL 090-3621-1509
 FAX 06-6835-0974
<http://mid.parfe.jp/>
mid@jewel.ocn.ne.jp

Jely、おまわりさん、カウンター-の根性比べ



4/1 夜 8 時 大阪梅田ヨドバシカメラ前 暗くて不鮮明、残念

これが関西風味の運動だ!

よく、A 団体がある行事を企画し、後日 B 団体が同じ日時に行事を企画すると、もろもろたまたま偶然に重なったわけだが「ぶつけてきたー」などといきり立つ。「ぶつけ」の極みがこれだ。私の生業は学習塾。平日の夜など出られるわけがない。そんなこと構いなしに企画し、私の生活やえ脅かす。

「河野談話反対の署名と募金をしまわ。04月1日〜4日、7日〜11日まで18時〜20時、梅田ヨドバシカメラ前です。014日〜18日まで、17時〜19時難波高島

屋前、021日〜25日まで、18時〜20時、中之島の朝日新聞社前。028日〜5月2日まで、17時〜19時、難波高島屋前です。5月7日以降は警察とすりあわせ中です。ご協力ヨロシクお願いします。」と。メールの主は「現代撫子倶楽部」代表、Jely (J) 中谷辰子。
<http://ameblo.jp/ryobato/>。
 「Jely」〜日本のタフ〜」で検索。要は、4〜5月の平日夜、2ヶ月のロングラン、マラソン街頭署名をやるといふのだ。そして、「チラシ1,000枚刷って! それと横断幕も作って。」と原稿を送ってやる。ほんまにこの年増のお嬢さん、かなわんチー!

おっと、忘れるところだった。とにもかくにも3ページの署名、ぜひお願いしたい。前号は中山成彬先生が中心になって行ったもの。今回は地方議員(代表、松浦芳子)が中心になって行う署名集め。それにJelyが協力しようと言うものである。Jelyに「ホ」の字の私は生業を放って応援に行く。行くや否や警備のおまわりさんに泣きつかれた。「増木さん、何とかしてや。土・日は必ずどこかのデモが入る。わしらのヶ月休みないんやで。」「いや、私このヶ月したら会社がなくたっていいかも。」さらに、街宣の向かい側(調度カメラの周囲)には、カウンターの諸君がヤジったり罵声を浴びせたりしている。カウンターのお兄ちゃんを一人つかまえて、この街宣

月、5月平日毎日続けるらしいで。余程気合い入れて野次らな続かんで!

お兄ちゃん「...」。Jely、警備のおまわりさん、カウンターの罵声隊。それに私。誰が先にダウンするか。根性比べだ。この記事を讀まれた方、梅田や難波を通りかかったらまさか素通りはしないでしょかね。運動にはいろいろな形がある。集会や勉強会、M情報のようにミニミニ誌の発行、テマや街頭演説。皆自分の最も得意とする方法でやっだらいい。しかし、絶対やっだらいけないことは、自分と違った方法を揶揄・批判することだ。自分と考えが違ふなら、そこに参加しなければいい。それだけのハナシなのだ。

私はJelyを尊敬する。人は彼女のことをいろいろ言う。当たらずといえども遠からずの部分も。もちろん彼女として満点ではない。しかし、選挙運動じゃあるまいし、『何のために安らぎに背を向けて』2か月も毎日、梅田等に立つというのだ。彼女は手段として常に自立することを考えている。それを「自立しただけ」と目的であるがごとく批判する人がいる。「お前はバカか」と言いたい。街宣である。目立ってナンボ。たこえ珍ドク屋でも毎日通れば宣伝商品は記憶に残る。腕を組みながらせせら笑つ傍観者はガタガタ言うな。「品格がネー。」今は銀座のと真中に立ち食いのレストラン。キハウスが流行るご時世なのだ。品格より、まず何でもいから「やること」ではないか。彼女はただ在米日系人の子供《次頁、4段目へ》

福井の教育環境・大阪の教育環境

NOO法百人の会理事長 大阪府議会議員 辻 淳子

9月20日、教育再生地方議員百人と市民の会の勉強会を開催し、大阪同和教育の弊害と、福井県の教育が効果が高いのはなぜかと講義をいただきました。

福井県では三世代同居で祖父父母の支援があることが大きいとわかりましたが、無い物ねだりではなく現実を見据えての対策を練らなくてはなりません。

体力がある点においても、登校に10分歩いて行くことが普通である現状を無視できません。

私(増木)も福井県人の端くれとして、一言弁解しますと、鈴木先生はお住まいが福井の端っこの方だからなの分かったのであって、福井の街の中の私は10分程度でした。

ご講演は、大阪教育界の歴史に関しては知らないことば元大阪府中学校教諭長谷川潤先生。福井から前県議会議員鈴木宏治先生。長谷川先生から大同協(大阪同和協議会)の影響の実態を拝聴し、それが福井の鈴木前議員にどう映るのか。「エエッッ」という話になると思ったら案の定「エエッッ」という話になりました。13年ほど前にこの悪魔集団のバイブル(下記写真)は入手していました。ところが議員よりストツブがかかり、異常性を訴えるにも手をつけることができませんでした。不当な圧力集団が教育界にはびこり、日教組等と手を組み、大阪の正常な教育を阻害してきました。その結果、全国下位の学力・体力。大阪教育界の今まで語られなかったタブーに切り込んでいただきました。

そして、余談ですが、橋下氏が知事になり、市長になり教育基本条例を策定しました。それにより、教育環境はみるみる改善されています。

そしてその真逆の福井。強いて言えば癒しの教育。

鈴木前議員に、今回の企画をお願いしましたところ「私は教育の専門家ではないから」と固辞されました。「そうじゃない。福井の子供たちの環境、鈴木先生ご自身の小・中高時代の思い出を語っていただきたい。」と説得し、来阪いただきました。

福井の組合の組織率はほぼ100%。校長が分会長(各学校の組合の代表)。それだけ見れば大変な県ですが、実態は親睦団体。でも共産党系の高校の組合は結構頑張っているようです。また、福井は共働きが全国1。そこで私が(事情は分かっているのですが敢えて)福井は「男女共同参画」、「ジエンターフリー」の最先進地域ですか。」と質問しました。福井の人はそういうものかと思っている。子供のために、嫁入り筆等の1つも買おうと働く。子はその背中を見て育つ。「男女共同参画」、「ジエンターフリー」などというような言葉も知らない。「ナニ、それ?」という感じです。

また、「大阪は宿題が全くない。福井はいかがですか。」という質問に前議員は口を開けたまま、言葉が出ませんでした。

福井の教育を一言でいうと、「一昔前の教育」と言い切れると思います。結局都会は一歩進んだ教育のように思えるのですが、実はそうではなく荒廃が進んだだけのようです。

先日、東京の土屋たかゆき前都議から電話があり、「石原さんが(都知事を)辞めてから、東京はガタガタだよ。さっそく(組合独自の)プリント学習をやってるよ。と仰っ

しゃっていました。また、途中で阿部賞久大阪府議が、大阪の道徳教育に関しての取り組みをを説明されました。時間がなく中途半端になってしまい申し訳なく思っています。一度ゆっくり拝聴したいと思えます。

実はこの日、鈴木前議員、第1子が今日明日生まれる状況での来坂(後日お嬢様が誕生)。前議員曰く、「私は今まで原発や福井の産業中心に質問し、教育の質問などしたことがない。これからは教育中心になるだろう。」弊会理事岩田の司会で進行しましたが、彼女、司会を忘れ、お母さんになっていました。ご講演は、近日中午にYouTubeにアップしますのでご覧ください。(XP→8)で手ごさっていますが、何とか早く)



上の写真、左：鈴木宏治前議員、右：長谷川潤先生
左の写真：大同協悪魔の裏マニキュアル



《↓前頁、末尾より》たちが虐められてるのが許せないだけなのだ。

私とて、Jesとは少々手段は違うが目立ちたい。名前を覚えてほしいのだ。運動なんて所詮一人ではできない。いかに多くの協力者を得るか。何かを頼みたい。東京へ電話する。「じつはかくかくしかじか、大阪に住んでいます、増木と申しまして・・・」自己紹介から始めると本題に入るまでどれだけ時間がかかるか。時間II電話代だ。「毎度! 大阪のマスクです。実は今度の・・・」すぐ要件を言える。だから機会ある毎に私は名刺を配りまくる!私の名前を覚えてよ!と、ネットワークワークに動かしむけた。

目立つことを批判する人は、ネットワークづくりなどまったく眼中になく、ただ自分の周囲で小山の大将になり、自己満足の運動しか考えていないのではないかと、逆に批判したい。「ほかを批判するな。」などと書いておきながら、批判してしまっただが。

私は彼女を見てみると愛国党総裁、赤尾敏氏の名前を思い出す。資料「よるよ、来る日も来る日も有楽町数寄屋橋交番の前で辻説法をされたらしい。彼女の街宣は「辻説法」と言うには少々喧しい。もうちょっと上品に、とも。しかし、それは彼女の『型』なのだ。毎日毎日、同じ場所と同じ時刻に訴え続けられ、家路に急ぐ人として、河野談話の異様さはわかるだろう。

私の尊敬の基準は、私のできないことを平然とやる人。軽蔑する人は、自分ができるのにできる人を嫉妬し、誹謗中傷をする人。

このくらい持ち上げておけば、もう途中でGive upはできないだろう。あとは、Jellyの「健康」に神様がどれだけ応援してくれるかだ。

蓮坊公爾の一日々一言

《評・政党なき時代》3/24

名著とは、何時までも心に留まるものである！まして好奇心盛んな学生時代に読んだ書では感慨深いものがある！さふした一冊に中村菊男著『天皇制ファシズム論』があつた。氏の論点は史的唯物論全盛時、我が國に於いて軍國的要素は存在してゐた。然るに「ファシズム」不存在を明確に打ち出した点にある。さらに、ナチズム(獨)・ファシズム(伊)の独裁体制とは異なると実証した。東条英機にしても近衛文麿の後続として首相に指名された。それは民主的な結果(木戸幸一推薦)で独裁者とは異なる。井上清や羽仁五郎他一左翼のファシスト東条論を強烈に批判してゐる。又、当時の日本の立場分析。権利の二元化が成され、地政學に基づいた前略の欠落。下剋上の軍部や政治家。朝日新聞の扇動結果などが、相乗作用をもたらした対米戦(反日も影響)に邁進してしまつたと。ここに日本國の悲劇がある。こつした状況下では、例へば昭和天皇陛下とゐへども暗殺されりし危機があつた。一中村菊男教授は分析した。此のやうな優れ書は日本人の必読である！版元「毎日ワンス」からの復刊『政党なき時代』

《共産党の筈に躍るなかれ》3/23

第7回コミュニケーション(昭和10年)。モスクワをひて「人民戦線」戦術が採択され、この意向に添うて行動が行はれた。一敵対関係の政党・労働団体との共同闘争を通じ、軍國化の阻止ほ挙げる！正に、今日の「日本共産党」運動手法そつくりだ！安倍晋三を危険人物に仕立て

上げる！「原莞」「集团的自衛権」ほ容認発言。戦争賛美人間と烙印を捺する。平和ほ観念的に捉へる！立正佼成会、佛教会や伴天連を味方(宗教家がこゝまで莫迦とは頭空つほ)に付ける！大江健三郎や浅田次郎など夢遊病患者を躍らさせる！一保守派や拙者「伝統回帰派」(平沼赳夫氏も然り)は、一致団結して共産党など破壊分子と闘ふ努力をやるべきだ！益々忙しくなつてくる。骨の髄まで「大和民族覚醒闘争」。田母神新党も期待度が高まつてゐる！

《米國以外の友好関係》3/14

インド・インドネシアやトルコは「親日國家」として、とみに有名だ！イスラム諸國も日本との「友好」ほ強く望んでゐる。カフカス・イランは日本人の禮節を重んぢる態度は武道にある。そふ考へ柔道ほ奨励。アブダビのムハンマド皇太子は、日本の傳統文化に興味津々でホテルに茶室ほ作る。サウジアラビアは和太鼓を。パレスチナ、イラン人も日本文化ほ奨励してゐる。モザンビークでは、宝山昌子理事長の學校が教育に貢献してゐる。何故、日本への視線が熱氣を含んでゐるのか！一米國ほ始めキリスト教國家の自己中心先進性・独占欲にある。西洋風民主主義の絶対優位思想(十字軍遠征から続く)。自我賞賛とアラブ諸國への差別視が根底にある。つまり、日本民族は非キリスト教國家。限りなく深遠な文化・傳統を持つ。偉大な「皇統」スメラギを讃えてゐる！この神秘性はアラブの星と輝くのだね！我が國は黒人無能オバマの米國依存症。ここから脱却すべき

時期「きつゝゐる。

《活躍中・田村議員》3/12

反「河野洋平談話」の署名運動ほおこなひ新聞にも取り上げられた。御苦勞様！息子・河野太郎のごとく訳の解らぬ政治屋が繁殖する中、敬服します！大の太郎は洋平(頭の中味が平和)そつくりの悪相だ。菅官房長官も「煮え切らなぬ」！小心の無頼者。チラシ・カンパ依頼など有りましたら御送り下さぬ。一森田健作知事は動ひてをりますか！森田知事ならばだ当然と思ひてをりますか。拙者も雑誌に書ひたり、《大和民族覚醒闘争》に全力投球めたします。河野洋平、村山富市他一反日分子(喜ばし組)と同じ空氣ほ吸う。それだけでも怒り沁頭だね。多くの同志諸君からの熱血返信ほ感謝します。

《偉大なる小林秀雄》3/6

小林氏は、占部賢志(歴史のぬのち・著者)の質問(学生時代)に対し「君の躰には先祖の血が流れてゐるんだよ。それが歴史といふものなんだ。そこほよくよく考えなくつちやいけなひ。誰でも宿命を持つてこの世に生まれてくるんです。そのことをきちんと自攬しなければだめだ。そして、生きてきた責任を果たさなければならぬんだよ」…合掌・寸時働哭が止まらぬ。「自覚も責任も」放棄した人間が、蔓延してゐるぞ！河野洋平、村山富市他一小林秀雄氏の言靈が理解不能だろう。三島由紀夫自裁後、江藤淳が「三島狂人」を語る。寸時秀雄氏は「三島の氣持ちが解らぬのか」一怒鳴った。天眼通な大和人であつた。拙者は、小林秀雄氏から「梶井基次郎」追悼会の出席(湯河原)の是非連絡を受け、うつかり

返事は忘れてしまつた。返へす返へす残念だつたね。

《書ほ讀みて我を知る》3/6

以前荒川洋治さんも話してをりました。が、「本屋大賞」ほ批判してゐる！私も過去に勤めてゐたが(10年間)、本屋がとほる本ほ推薦図書紹介する。それをマスメディアに流します。売れる。版元は書店に媚びる作品を提供する事になつてしまふ。青蛙房の岡本修一社長と話したが、木村毅氏『明治文學回想記』なる名著一今、復刊しても売れなひと。なしろ大学生の6割弱が年間一冊も本ほ讀まぬ御時世だからね。『中谷孝雄全集』を讀んでゐますが、透水する文体が染み渡ります！それと、翻訳本も誤訳が多め！特に大学教授の訳が甚だ不自然だつたりします

《白井裕一氏の透水》3/6

田母神氏を支える有権者を「ネット右翼」と蔑む！左翼陣営から色眼鏡で見たらだ！すべからく、「ナチス親衛隊」・ユウゲントに思つてゐる。こつした差別視こそ、マスメディアの危険な火遊びなんだ。明らかに既成右翼では無い！拙者の関わつた新右翼に非ず！一マア、偏向メディアの想定外の勢力に度胆を抜かれた結果なんだね！この60万旋風は、更に広げる努力をやる。一メディアの語る「民意」など分析の価値も無い！

《正》憂国の正論》3/8
 今『日本時事評論』を読み終え願いてお
 ります！「日本と台湾」の友好は貴重な
 財産。価値観の共有は大切にすべき義
 務がある。そこに、国家の道義がある。
 にもかかわらず、「国交回復」していな
 い。これは明らかに異常だ。マスメディ
 ア・政治家。意図的に避けているのな
 あ…支那・韓国に媚びる政治屋だけは、
 しっかり存在する。「互惠関係」等一無
 存在だ。今後共紙面に期待大。拙者も《大
 和民族覚醒闘争》に邁進。本音で行動を
 続けて行きます。それが「信義」を貫き
 通す事だ。

《明治期の文学》3/1

味わぬ深い文学作品を読んでみた。
 此のやうに感ぢたのは、昨今の「小説」
 の類ひが感銘ほ少しも齎さぬからである。
 絞り込んだのは「明治期」の小説。山
 田美妙『胡蝶』と『黒蜥蜴』・広津柳浪
 である。内容もさることながら文体が良
 ひの。歴史的仮名遣いゆゑの重奏な耽
 美が、日本人の機微にふれる。次に『半
 七捕物帳』で名を馳せた岡本綺堂の心中
 物。短編集『江戸情話集』である。「心中」
 なる我が國独特の死生観は、近松門左衛
 門『曾根崎心中』が有名であるが、綺堂
 の『鳥辺山心中』『箕輪心中』も一気読み
 してしまつた。この御仁の『修禅寺物語』
 を読んでいなかつたので次に熟読した。
 この版元は、修禅寺町・長倉書店なる地
 方出版社だ。明治の作家が偉大なのは、
 上田敏や森鷗外など優れた翻訳家でもあ
 る事。岡本綺堂も、『修禅寺物語』の英語
 訳・沸訳。なんと、エスペラント訳まで
 こなす！「おらあ、おったまげただよ」

《日本語を守る》2/28

津田幸男著『日本語防衛論』。この本は、
 第2の『文化防衛論』である。端的に言え
 ば、我々「日本人」の言語基盤は、当然
 日本語(母国語)にもかかわらず、英語
 を奨励する空気が蔓延！美しい言葉の感
 性が無視され、論理的英語がまかり通つ
 ている。英語が主の生活で、母国語が従
 の生活。危険性を批判している。最近問
 題になつてくる政治屋・国民の変な横文
 字使用など端的な例。やたら「シユーシ
 イ、ヘルシイ」。馬鹿馬鹿しい限り。著者
 は「愛国心」無き亡国と呼ぶ。同志百般
 の必読書である。(小学館・1300円)

《名著は甦れ》村尾次郎著『民族の生命
 の流れ』は、品切絶版である。この版元・
 日本教文社。生長の家系列で、葺津珍彦、
 林房雄、名越時正氏日本人として一度
 は接すべき「必読書」。だが、谷口雅春
 氏無き後方向転換！良書は軒並み破棄。
 拙者はアマゾンで入手した。どこぞや気
 骨ある出版社は刊行を手掛けて欲しい！
 中村菊男氏の名著『天皇制ファシズム論』
 は、毎日ワイズで復刊！偉大なる出版人、
 日本啓蒙に力を注いでください。

《民意の愚を斬る》2/26

『日本時事評論』。昨今の政治屋が好ん
 で使う「民意」なるオウムの物真似言語
 を、小気味良く批判している。一読の価
 値有りだ！民意が政治を縛る。「重要課
 題が先送り、改革も骨抜き。それは、国
 民の私益重視と公益軽視による。戦後西
 洋風民主主義の弊害」と批判する。正
 に憂国の警告だ！たしか曾野綾子氏も、今
 時の日本人は施しを当然と考え礼節をわ
 きませぬ！つまりだ、民意など大の糞だ。
 利己的な民意より毅然たる信念で政治を
 遂行すべし。政治屋は顔色ばかり気にす

るな。歴史を勉強しろ。切りがないので
 止める。

《働きたい青年将校の怒り》2/26

黙って話しを聴け。あゝか諸君！1年
 待ち、最後の30分まだ待つてゐる。黙
 つて人の話しを聴け。君達は否定された
 憲法の中で軍人としての誇りは無いの
 か！共に体をぶつける奴はあゝなのか！経
 済繁栄につつつをぬかす。自己保身と祖
 国日本を省みぬ腐つた豚に甘んじる政治
 家、財界人の馬鹿！黙って聴け、文を捨
 て「武」に生きるのだ！今からでも遅く
 ない！共に立ち上がろう。経済繁栄だけ
 で魂は無いのか！民族の怒りは捨てたの
 か…。よし分かつた。もう何も言はぬぞ。
 「天皇陛下万歳・昭和11年2月26日」
 安藤大尉：「しんしんと降りたまう雪の
 飛礫は清楚、帝都の不純ほ押し流し皇統
 に黎明を齎す。不逞の輩は斬殺せねばな
 らぬ。民族の息吹きが聞こえる。霊界通
 信より！又、三島由紀夫は死して後に磯
 部浅一主計大尉となる。

《「予算委員会」で審議される不自然》
2/22

国会予算委員会において、元官房副長
 官・石原信雄氏は「河野談話」！慰安
 婦の存在の国家関与を否定する見解を行
 った。これ自体は当然！石原慎太郎、櫻
 井よしこ他実証済み。村上富市や朝日新
 聞など、国家反逆者が騒ぎ韓国・支那。
 そして真実を韓国票に頼る無知なヤンキ
 ー。一気になる点は別にある。何時もな
 がらだ、高度な政治問題が「予算委員会」
 で審議されている？これが不自然。我が
 国では、外交委員会や国防委員会での中
 継はタブー(存在自体不明確)である。
 つまり、国家戦略の観点で物事を判断す

る。グローバル、地政学による審議が欠
 落している。この現状を、議員のスボ
 ンシ頭は慧眼していない。語らない。「河
 野談話」の見直しを菅官房長官が匂わせ
 た。しかし、「有り」と認める安倍政府は、
 今更否定する勇氣は無い。単なる言葉遊
 びだ。尖閣防衛策同様、他人任せに終わ
 る。それが今時の政治家の有りよりだ。
 石原慎太郎、平沼赳夫、山田宏などわず
 か少数派！この國の前途多難。一そう言
 えば、「慰安婦像」の製作者は北朝鮮シン
 パの過激派「WILL」花田編集長は「日
 本政府の対応は甘い」。もはや、甘い虫食
 いはゴメンだ。(文中敬称略)

《広報費5倍に》2/16

前略、やっと海外勢(支那・韓国他)
 への情報量の増加が喜ばしい限りだ。新
 藤総務相には、マスコミ対策。反日除根、
 ZINX改革を御願致します！日本政府
 内に一人のケッペルス宣伝省がないこ
 とが問題だから！それと支那や韓国他、
 ハッキリ言うマッケイン・ルビオ共和党
 議員とのパイプは太く。反日オバマ、バ
 イデンは、頼りない！

《国賊・植村隆》2/15

我が國の大学はレベルが低い。その1要
 因に「教授の資質」がある。左派・いい
 加減な奇態植村隆(朝日新聞記者)・臍
 抜けジャーナリストが神戸松陰女子大学
 教授とは、生徒が被害者だよ！女子大生に
 「慰安婦問題」でも教えるのかな。推薦
 者及び、教授会の意見を聴かせよ！多分、
 「学問の自由」で逃げ出すよ。一深淵に
 追求する。「松陰先生」の名を語る以上、
 建学の精神を聞きたい。学芸館高校の森
 理事長ならばだ、こんな醜態を晒しはし
 ない。

はだしのゲンもろもろ

**毒書『はだしのゲン』追放運動
教育問題懇話会 空花正人
3月11日**

先日(3月11日)、中野区教委からの回答文書(後述)に対する所見をお示しします。

彼等の言っていることを逆手に取ることもできるので、さらに追及の手を緩めないように、私からもお願いいたします。中野区教委は斯くのことと言います。

1. 「図書館資料の内容に暴力的な表現などの描写や記述があったこと」も、
2. 「当該図書館資料を選定した学校が暴力などを肯定する趣旨で児童・生徒の利用に供しているもの」ではなく、
中略

3. 「各学校において児童・生徒の発達段階に応じた適宜適切な読書指導が合わせて行われることが必要」となります。

それでは反問しましょうか。
1. そうですか、中野区教委は、『はだしのゲン』には暴力的表現、描写や記述があるとの認識ですね。従って毒書『はだしのゲン』という私どもの主張に賛同、共感いただけるのですね。ありがとうございます。

2. そもそも学校が暴力肯定することを言っわけがないでしょう。その様な普通なことを理由に挙げるには裏があると勘繰られて当然です。暴力を肯定するのではないなら、開架措置によって児童生徒が勝手気ままに毒書を手にしてよいわけがないでしょう。

本の背表紙に「読んだら危険。暴力反対」という張り紙でもするのでしょうか。

3. では、中野区では「暴力的表現」があると認識している毒書『はだしのゲン』を児童・生徒に自由に読ませるのでしょうか。

「必要な」読書指導の実態について、何をしているのか個別的かつ具体的に説明願います。

児童・生徒が開架されている本を自由に閲覧できる状態で、どうして読書指導ができるのですか。閉架措置なら借出す児童生徒に対し指導ができるというものです。読書指導とは、閉架措置している図書だからこそ可能です。さもなければ、予め『はだしのゲン』を読む場合には先生に声をかけてくださいね、とても言い聞かせるのでしょうか。

25中教学第0911号
平成26年(2014年)3月11日
教育問題懇話会
若崎竜也様

中野区教育委員会
委員長 大島やよい

『はだしのゲン』の教育現場からの撤去を求め陳情(ヒソト)回答

日頃より中野区の教育行政にご御理解と御協力を頂きありがとうございます。

平成26年11月25日付けで、当委員会に対し提出された表記陳情について、次のとおり回答します。

学校図書館は、学校図書法に基づき、学校の教育過程の展開に寄与するとともに、児童・生徒の健全な教養を育成することを目的として設置されており、児童・生徒の主眼的、意欲的な学習活動や、読書活動の充実が図られるよう、多様な図書館資料を収集し、整理し、及び保存することともに、児童・生徒の利用に供することを役割としています。

その中で図書館資料の内容に能力的な表現などの描写や記述があったとしても、当該図書館資料を選定した学校が暴力などを肯定する趣旨で児童・生徒の利用に供しているものではなく、学校図書館において様々な内容の図書館資料が児童・生徒の利用に供されていることを踏まえ、各学校において児童・生徒の発達段階に応じた適宜適切な読書指導が合わせて行われることが必要となります。

そして、区立小中学校における図書館資料については、当該小中学校の校長が学校教育去による校務掌理権に基づき選定を行い、利用に供しているものであります。

したがって、区立小中学校における図書館資料の選定及びその取り扱いについては、関係法令に基づき当該小中学校の校長の権限と責任において行われるべきものであり、当委員会としては、当該小中学校の校長の判断を尊重すべきであると考えます。

また、区立小中学校の図書館資料については、今後とも当該小中学校の校長による適切な選定が行われるようにするとともに、児童・生徒の主眼的、意欲的な学習活動や読書活動を通じて、感性愛かと思いやりのある心が育まれ、思考力、判断力、表現力が養われるような教育活動が各学校において展開されるよう努めるものといたします。

なお、区立図書館は、図書館去に基づき図書等の資料の収集等を行い、一般公衆の利用に供することを目的としているものです。

したがって、区立図書館における当該図書等の取扱いについては、図書館去による館務掌理権に基づき、環境の権限と責任において適切に行われるべきものであり、当委員会としては、当該官庁の判断を尊重すべきであると考えます。

「はだしのゲン」の問題点 長崎市議会議員 浅田 五郎 3月23日

「はだしのゲン」第二弾 3/20
第一弾 3/20

大阪のニュースが「はだしのゲン」を取り上げていました。

「きちがい」「じじい」などの差別的表現が使われており、泉佐野市市長が差別的表現が多いとして教育長に学校の小中学校の13校の図書館より回収する事を指示して、今年1月に回収していたが今日20日校長会に戻したとのニュースでした。私も議会で、原爆の事以外作者の思想を大きくうただしている内容だけに学校図書館での閲覧は問題があると指摘してました。泉佐野市では、校長会が子供達の著しい人権侵害だと返還を要請していたのでその様に教育委員会はした様です。人権上表現が不適切だから学校図書館ではと市長は思ったのでしょうか、ある面では人権を無視した表現を容認した事に校長会はなりません。さて、「はだしのゲン」学校図書館の閲覧を容認した長崎市長、教育委員会は、又、平

和教育に人権教育に熱心な関係者の皆さんはこの様にこの問題を受け止めるのかお尋ね致したいと思えます。

「はだしのゲン」第二弾 3/20

「特定の価値観によって子供達が読むことさえできなくなるのは子供達への著しい人権侵害だとの校長会の意見でその会長さんの「ほっとした」との記者会見でした。今は、いろんな種類の図書が氾濫しているだけに教育者が、親が、生徒に對して、我が子に對して責任を持って選別して上げることが大切だと思います。その本の内容よりもなんでもいいから読みたいものは、読ませることが子供達の人権を守ることなのでしょうか。そんな人権の安売りで、真の子供達への教育ができるのでしょうか。教育は最も厳粛なものでは無いのでしょうか。卒業式の季節ですがどれだけの学校で我が師の恩と子供達が「仰げば尊し」を歌ってくれたのでしょうか。泉佐野市の13校はどうだったのでしょうか知りたいですね。

「はだしのゲン」第三弾 3/21

差別的表現を理由に一度は、「はだしのゲン」を回収したのに又校長会の要請でそれぞれの学校の図書室に返還したとのこと。問題は泉佐野市では、例えば、メクラ判とか、片手落ちなどは、さらにえたなどは人権問題としていまではマスコミでも教育界でも一般社会でも差別的として使用をしていないのでは無いでしょうか。

作者の中沢さんの奥様は、一部分だけでも、漫画としての当時の描写とも述べられておられます。差別的問題はそれが人権

問題であればあるほど、泉佐野市長の取った行動こそ指導者として当然であったと思えます。漫画の内容では無く、差別的な表現が問題だと思ったそのとうりだと思います。校長会の姿勢では泉佐野市では、人権教育はできないのではと危惧しております。「はだしのゲン」を守りたいお気持ちにはよく解りますが、ことは、日本の子供達に影響を与える漫画本ですからひとり一人の教育者がただ読みたければ読ませていいの、なんです。言葉の一つで相手の心を傷めるその言葉が差別的表現であって「いじめ」がおこなわれても泉佐野市の教育界では、漫画の一部表現だからで済ませるのでしょうか。千代松市長の市全体で人権教育に力を入れていることを知り校長会とのこの問題の市長との乖離は何を意味するのかと考えております。これは決して泉佐野市だけの問題ではなく日本全体で考えていく問題を泉佐野市は提供したと思っております。

「はだしのゲン」第四弾 3/22

3月22日の朝日新聞の社説を読んで論点が少しずれているのではと思いましたが。差別的な表現が多い漫画本が人権教育に熱心な泉佐野市として学校の図書室に教育図書として適当であるか、教育長に指示して回収したことは決して間違いないと言えましよう。問題は、これが首長の危うい教育介入にすり替わり、自民、公明の教育制度改革案の首長の権限の強化を、さらに、教育長の直接任免できると指摘しています。教育委員はこれまで

も首長が推薦し議事が承認、教育長もその委員の互選ですから首長の権限は常に教育介入でした。また、共通学力テストの学校別成績を自身の判断で公表する

など、教育行政への関与に積極的だったとあります。市長の仕事はその市に住む子供達のあらゆる成長の為であれば努力することが当たり前でしょう。学力が落ちていけば角度を変えて公表も必要でしょう。今回は、「はだしのゲン」の内容

の表現が人権教育に不適切な表現があるから学校図書として不適当かどうか精査するために回収をしたこと、いま、行われている政治改革と同一でできないと思います。今回の事例を政治主導の短所、弱点を精査するきっかけにするべきだと結んでいます。同和で問題になった、差別的言葉などが時代を超えて読み継がれる作品にあるからこの言葉が泉佐野市の子供達のあいだで一人歩きして使用されては本意では無いでしょう。教える受ける子供達を教える側の教師が、何が正しいかを責任を持って教育できれば、いじめにしても、差別にしても無くなるでしょうが。「はだしのゲン」の内容を読

んで見ると原爆の悲惨さと戦争否定であればいいのですが、作者の思想を押し付けていることを感じ子供達に危険な教育的ではない漫画本だから回収されたとおもいます。いずれにしても「はだしのゲン」を戦争否定、原爆の恐ろしさを表現した漫画本だから全て正しい教育的内容のいい本だと決めつけて果たしているのかと疑問に思っています。

日教組汚染、その書毒
M情報 増木重夫
4月10日

http://midparfejo.kikanshi/152.pdf
M情報152号(前号)の2頁目の最後に書きたかったこと。紙面が無くてか

それを利用し書き足したい。街宣や、デモ。もちろん例外はあるだろうが基本的には純粋に社会の不条理を訴えている。

先日、京都朝鮮学校の控訴審の口頭弁論があった。徳永弁護士は、「まだ議論がある。」と食いついたが、第1回にして結審。次回は判決。早い話が門前払い。「こちやこちやうるさい」と裁判所は言いたかったのだろう。

被告の連中はよく知った顔ぶれ。東京勢はわからないところもあるが、少なくとも大阪勢は純粋に京都朝鮮学校に抗議に行った。もちろん彼らの行為を肯定しては行かない。確かにもっと他の方法があったはずだ。しかし、巷間に行われる人種差別では決してない。彼らの一番の間違いは己が純粋なら、己が正義ならこの程度は許される。と甘く思った点。「自分たちは正しい」と思い込んでしまった点だと思つ。

自分の純粋性、正義を自分で採点してしまったことだ。他人、第三者から見てどう見えるのかを考えなかったこと。他人、第三者とは、普段まったく付き合っていない異種の人たち。自分や自分の親しい仲間と自分たちの行動を採点し、合格点をつけてしまったことが大きな間違いだ。世の中自主採点はないのだ。

要は自分。自分の我を押し通すことを日教組に習ってしまった。自分が中心、自分たちのやりたいことをやったらいい。常に主語が「自分」。これが日教組病のステージ5だ。

「日教組粉砕」を叫ぶ前に、まず自分が日教組病に犯されていないかをチェックしてから、ことを起こすべきだ。日教組病の患者が「日教組反対!」では滑稽としか言いようが無いではないか。

ベルナルドの原爆投下への批判

Jellyのブログ

<http://ameblo.jp/ryobalo/>
2013-01-22

東京裁判にて、日本無罪論を貫いたフランス人判事ベルナルドについてレポートしたいと思います。 中谷良子

この論文、ちょっと手強いゾ！ Jelly、この難解な文章を理解してレポートしたの？ 正直に言ってごらん。 マスキ

東京裁判が日本人に残した禍根のひとつに、広島、長崎の無辜の民への原子爆弾投下の問題が法廷で正面から一切取り上げられなかったことが挙げられる。しかし、この点についてもベルナルドは反対判決書の中で独自の表現で指摘していた。

侵略戦争を行う共同謀議などよりも、全住民の破壊を企てるというような共同謀議の方こそがいっそう罪深いものであるとしながら、次のような見解を「あり得ない」結論のひとつとして掲げるのである。たとえば、日本の学者が、ひとつの地域全体の住民を一拳に絶滅することのできる発見を、ある陸軍将官のたすけによって、利用することを決定し、また実際利用したという場合に、もしこのような残酷な破壊が陸軍将官の命令に従って、兵士によって行われたならば、その学者はその破壊に対して責任がないことになるであろう。

日本を例に論じてはいても、ここからは「自然法」に依拠するベルナルドが核兵器の使用という普遍的な社会、普遍的

な人間に対する犯罪を行ったアメリカを非難していることが読み取れるだろう。他に類を見ないほどの「自然法」違反、

神の赦しが下りるはずもない重大な法違反が看過されている以上、たとえ日本の戦争が「侵略」戦争に見えたところで、その責任を追及するのは彼はこの上なく理不尽なことと思えていたに違いない。

確かに、市民革命を経て次第に安定した市民社会が成り立っていくにつれ、「自然法」論はその役割を終え、法哲学における支配的地位は法実証主義へと移っていった。

第二次世界大戦後、「法律は法律だ」とする法実証主義の思考法が結局はナチスに利用されてしまったとの反省から、「自然法」が復活した時期もあった。悪法を法とは認めず、正義が法概念に先立つべきだという動きが生まれたのである。しかし、それも長続きはしなかった。「自然法」の根拠となる「自然」概念、すなわち人間にとって何が真に自然であるのかが実際には言われているほど明白ではなく、「自然法」論者は恣意的に捉えた

自然の定義から法的効力を引き出しているに過ぎないとする批判も強まったからだ。その中でも、ベルナルドはあくまでも自然法に則り、原爆批判をしていた。実際、東京裁判において「人間などを超越した法」によって判定が担われ、その射程がアメリカの原爆投下にも及ぶものとなり得ていたならば、日本人もその結果を、少なくとも現在よりは障壁なく受け止めることができたと言えるのではないのだろうか。

自らの植民地支配や戦争犯罪を棚に上げたままの国々を代表する判事たちが、自らの作った法の下に一方的に裁きを下すという行為は当時であれ今日であれ、素直に受け入れられるものであるはずがないのだ。ベルナルドの見解は、そうでなかった可能性を考えさせるのである。そもそも、法実証主義が法の領域の隅々までを支配する今日においても、依然としてその基底には「自然法」的な倫理的、宗教的要素が複雑に横たわっていることは否定できないだろう。法と道徳、法と宗教などが理論的に区別されるようになってからはまだほんのわずかな時間しか経っていないのである。

また、英語にしろ、Jurisprudenceとしか表されない「法学」とは、語尾が“〜ズ”で終わる「科学」とはそもそも同じ類のものではないのであって、判決が下される際にそこに判事による何かしらの意図が働くことがあったとしてもまるで不思議はない。むしろ人間などといった弱い生き物から成り立つこの地球上では、せめて裁判所という世俗的な空間のどこか一部分だけでも、神的なもの、聖なるものに象徴されなければいけないはずなのである。

裁きの場に神に象徴されるものがあって初めて、裁かれる者はその裁きの結果を受け入れることが真に可能になるのではないだろうか。そして「自然法」とは、「正義とは何か」という問いへの答えなどが簡単に出来るはずもない中で、現代の我々が今一度立ち返り、思いを馳せてみるべきものに違いない。

特に我が国などにおいては「なぜ人を殺してはいけないのか」という子供の疑問に筋道を立てて答えられない親も増えたと言われて久しい。

人間の胚細胞の取り扱いや同性婚をめぐる問題など、科学の進歩や社会の中で複雑に階層が分化することで引き起こされるような様々な利害対立も顕在化してきている。環境問題をはじめ、我々の日常生活そのものが我々自身の生存さえ脅かしかねないような状況も出来しているのである。

法実証主義によっては解決できない難題が立ちほだかる今こそ、ベルナルドの主張は我々により響くものに思えてはこないだろうか。ともあれ、東京裁判以降、注目され続けてきたのはパルの下した判決だけであったが、パルが拠った法実証主義とは本来は彼を賛美するような保守の人間の考えとは相反する価値相対主義的なものに過ぎない。時間によって、空間によっても姿を変えてしまつて実定法に寄り添うことなどは「絶対」のものではないのである。

市場万能主義が大手を振って罷り通り、戦争といえは何でも反対を唱えさえすればいいと身構えた気概なき国は、今こそベルナルドの拠った「ブルードン主義」の強烈な刺激に晒されたみるのも少なからず意義のあることに思われてならないのである。

東京裁判は、連合国の正義の原則に立つ「共同裁判」の建前をとっていたにもかかわらず、裁判所を拘束する憲章、すなわち実定法そのものを起草したのは訴訟の当事者であるアメリカ人検察官のみであった。判事や検察官の任命も含めた運営のほぼ全てが、アメリカの恣意的な指導の下に行われた。起訴の場面ではむしろイギリスの思惑の方が目立っていたとはいえ、やはりアングロサクソン主導によるものであったことに変わりはない。

愛國心を涵養する名言集

日本の心を伝へる会

メールマガジンNo.516

2012/6/12

世界の国歌のうち最も荘厳なもの。『君が代』について)

「ヘルベルト・フォン・カラヤン」

我々が(オランダから)独立を勝ち得たのは、日本があれだけ戦ったのに、同じ有色人種の我々に同じことが出来ない訳はないと発憤したからである。

「スカルノ大統領」

裁判官パール氏の主張が絶対に正しいことを、私は全然疑わない。

「ハンキー卿(英国枢密院顧問官)」

日本人のように、幸せに生きていくための秘訣を十分に心得ている人々は、他の文明国にはいない。

人生の喜びは、周囲の人たちの幸福にかかっており、そうであるからこそ、無私と忍耐を、われわれのうちに培う必要があるということ、日本人ほど広く一般に理解している国民は、他にないのではないか。

「ワフカディオ・ハーン」

日本の僧侶たちとはいえば、老僧も小坊主も親切さとこのうえない清潔さがきわだっていて、無礼、尊大、下劣で汚らしいシナの坊主たちとは好対照をなしている。

「ハインリッヒ・シュリーマン」

大東亜戦争で日本は敗れたというが、敗けたのはむしろイギリスをはじめとする

植民地を持った欧米諸国であった。彼らはこの戦争によって植民地をすべて失ったではないか。

戦争に勝った敗けたかは、戦争目的を達成したかどうかによって決まる、というのはクラウゼヴィッツの戦争論である。

日本は戦闘に敗れて戦争目的を達成した日本こそ勝ったのであり、日本の戦争こそ、”聖なる戦争”であった。

ある人は敗戦によって日本の国土が破壊されたというが、こんなものはすぐに回復できたではないか。

二百数十万人の戦死者は確かに帰ってこないが、しかし彼らは英霊として靖国神社や護国神社に永遠に生きて、国民尊崇対象となるのである。

「朴鉄柱(韓国、韓日文化研究所)」

日本の天皇の宣戦書には、東洋平和を維持し大韓独立を強固にすると書かれていた。そのような大義は青天白日の光線より勝っていたのであり、韓・清の人々の智恵を論ずることなく、みな心を同じくして、賛同し服従したのである。

もう一つは、日露の開戦は黄白両人種の競争というべきものであって、前日までの日本に対する仇敵の心情がたちまち消え、かえって、一大愛種党となるにいたったのであり、これまた人情の順序であり、理に合うものであった。

快なるかな、壮なるかな。数百年来、悪を行いつつ続けてきた白人種の先鋒が、鼓を一打しただけで大破してしまっただのである。

日露戦争の勝利は一千古に稀な事業として万国で記念すべき功績であった。

だからこのとき韓・清両国の有志は、はからずも同じように、自分たちが勝ったように喜んだ。

「安重根(伊藤博文を暗殺した韓国の“英雄”)」

私は貧農の生まれで、学校に通うなど思いもよらなかつた。しかし日本人の役人が両親を説得して小学校に行く事が出来た。

そしたら学校の教師がお前は頭が良いから無料の師範学校に行った方が良いと推薦してくれた。

師範学校では更に優秀さを認めてくれて陸軍士官学校に推薦してくれた。

その結果士官学校首席として日本人同期生のトップで卒業し、陸軍将校に成る事が出来た。

今の私が有るのは清廉で誠実な日本人達のおかげである。

「朴韓国元大統領」

日本人はいずれも色白く、きわめて礼儀正しい。

一般庶民や労働者でもその社会では驚嘆すべき礼節をもって上品に育てられ、あだかも宮廷の使用人のように見受けられる。

この点においては、東洋の他の諸民族のみならず、我等ヨーロッパ人よりも優れている。

「ヴァリニャーノ」

日本の生活にも、短所もあれば、愚劣さもある。悪もあれば、残酷さもある。

だが、よく見ていけばいくほど、その並外れた善良さ、奇跡的と思えるほどの辛抱強さ、いつも変わることはない慰懃さ、素朴な心、相手をすぐに思いやる察しのよさに、目を見張るばかりだ。

「ワフカディオ・ハーン」

《前頁末尾より》

その彼らが多数派を形成して主導し、パリ不戦条約やポツダム宣言、東京裁判所憲章に足場を置きつつ法実証主義の観点から疵のないよう取り繕い、日本人たちの行為を断罪しようとした中で、それに真つ向から対峙したのはイラク戦争の時と同様、やはりフランスという国を代表する一人の男であった。

イラク戦争の際は、アメリカの国防長官ラムズフェルドがフランスの事を指して憎々しげに「古いヨーロッパ」と呼んだが、の〇年余り前の世紀の裁判の際も、多数派判事のみならずマッカーサーや〇上のなどアメリカ当局が一番その存在を煙たがっていたのはパールなどではなく、実はベルナルの方だったのかもしれない。

遅れて法廷に登場し、他の判事とは一線を画す姿勢をはっきりと見せていたパールは、彼らにしてみれば最初から異質な存在であり、懐柔などできない相手として認識されていたに違いないのだ。しかし、アメリカの助けがなくては戦勝国にも入れなかつたようなヨーロッパの国の代表者はそうではなかつたのではないだろうか。

また、法廷を長らく欠席し、被告たちの反証すら十分に聞くことのないままに反論を準備したパールとは異なり、ベルナルはそれらのほぼ全てをしかと聞き届けた上でもやはり反対判決を書き残さずには要られなかつたのだから、アメリカからしてみれば非常に厄介で危険な相手だったことは間違いないのである。

東京裁判は、しばしば問題とされてきたように中立国からは判事が一人も出されず、戦勝国だけによって取り仕切られた。

北から南からー各位よーい意見

A級戦犯から、A類殉難者へ
東京近代史研究所 落合道夫
3月20日

1. 区分表現:

「A級戦犯」という表現に疑問を呈する人が多い。まずABCは告発のレベルではなく対象の区分だからだ。すなわちAとは政治家、Bとは将軍、Cとは兵士である。だから処罰はCの兵士でも最高刑の死刑に処されている。したがって、今後はABCは「級」から「類」に改めて欲しい。国民の誤解が減るだろう。

ナ・ル・ホ・ド・ソの通しですね! 増木

2. 処刑の目的

次は、連合軍の軍事裁判の正当性である。これは白人全員無罪、原爆無罪から話にならないことが分かるが、連合軍の戦後政策の最大の目的は、アジアの白人植民地の再建だった。欧州諸国は植民地を失うと元の貧しい欧州の小国に戻ってしまうからである。そこでアジアの独立を認めれば日本の権威を落とし、現地人を威嚇するために、日本軍人を多数虐殺したのである。

軍事裁判は裁判の形態を真似ただけで、実際は証拠もなく、東南アジアだけでも一千人以上の日本人が片端から処刑された。パナン憲兵隊事件では憲兵隊に配属されていたという理由だけで二十人がいっぺんに処刑されている。こうした人命に関わる重大な裁判が事実と関係なく短期間に決定されたということは、連合軍

ははじめから一定数の日本人を処刑する予定だったということだ。

だから証拠などどうでも良かったのだということは、殉難者は我々日本人の身代わりであったと言ふことである。したがって「戦犯」表現は厳禁であり、殉難者に改めなければならない。

3. 英霊の辞世を紹介する。

■「同胞(はらから)の犠牲(イケニエ)なれば天皇(スメラギ)の弥栄(イヤサカ)祈り我は散りゆく」
坂本忠治郎中尉(埼玉) ラバウル刑死

■「東風(こち)吹かば桜の国へ渡り鳥、罪(とが)なき我の便り伝えよ」
池内正清奏任官 ラバウル刑死

■「音もなく 我より去りし ものなれど 書きて慰むぬ 明日という字を」
木村久夫上等兵

(京都帝大卒 28歳 アンダマン島英軍スパイ処刑事件通訳 司令官と共に死刑)

■「風も風ぎ、雨も止みたり爽やかに、朝日を浴びて明日は出でなむ」 処刑前夜
木村久夫上等兵

日中韓で防災演習 関東での大地震を想定、救援隊派遣の手順確認

日本と中国、韓国は6日午前、関東地方で大地震が起きたと想定した防災机上演習を、外務省で実施した。緊急時の救援隊派遣や援助物資受け入れの手順などを相互に確認するのが狙い。日中韓は東日本大震災後の平成23年5月の首脳会談で、防災演習の実施に合意した。25年3月に初めて開催し、今回が2回目。

演習には3カ国の外交、防災当局からオブザーバーを含め約40人が参加した。3カ国が協力推進を目的に設置した「日中韓三国協力事務局」の関係者も同席した。MSN産経ニュース

東日本大震災の時の両国の態度は全日本国民が激怒したはずである。近隣敵国である中共、朝鮮に関東地方で大地震が起った時にいち早く救援に来てくれる?

この計画を企画したのは誰だか? 分かっているはずなのに安倍内閣になってもそのまま継続するとは! あの震災時の売国内閣と同じではないのか?

全世界で日本を仮想敵国としているのは中共と南北朝鮮だけでしよう、不用心にも、その敵国にわが国の非常時に侵入を許すだけでは無く、侵入の協力までする、それも何回もシミュレーションをしてみなす。

バカも休み、休みにして欲しい! 内閣も防衛庁もこんな危険な計画が行われているのに気がつかないのか? 盗人(又スット)に侵入口を教えるだけでなく、手引きまでしているとは! 何で支那、朝鮮なのだ! 駐留米軍も居るし、もちろん自衛隊も全国から駆けつけろし、

初期にナゼ敵国に救助をお願いしなければならぬのか?

支那、朝鮮はなぜこの計画だけにホイホイやって来たのか? 魂胆は三三三工なのにナゼ政府は警戒感を持たないのか?

この計画を立案した奴、実行している奴は第一級の売国奴だ!

氏に、百人の会はの月総会の基調講演をお願いしている。くれぐれも教育問題から脱線しないでいただきたい。祈るだけだ! マスキ

歴史認識と歴史は違う 3/31 UNK通信 大谷 和正

皆様

最近、シナ・コリアが日本の歴史認識が間違っていると、さかんに日本を攻撃しています。しかし、歴史認識は歴史と違い、国毎に違っているのが当たり前で、これを同じにしようというのは、土台無理な話なのです。

アメリカ建国の中心人物のワシントン はアメリカでは「建国の父」として尊敬されています。一方、イギリス人は当時、イギリスの植民地であったアメリカを率いてイギリスに弓を引いたということでワシントンを反逆者と捉えています。「アメリカが1776年イギリスより独立した。ワシントンはアメリカ独立に大きな影響を与えた」というのは歴史的事実でイギリスもアメリカもこれに異議を唱えることはありません。しかし、その歴史の解釈・認識はイギリスとアメリカでは大きく違うのです。日本とコリアの間で

バカも休み、休みにして欲しい
「日中韓で防災演習」
京都北山の宮司 中村重行
3月6日 <http://blog.goo.ne.jp/hosonononmyasan/>
北山宮司のブログより

伊藤博文の認識が異なるのも当たり前前で
す。

コリアは自分達の歴史認識が正しく、
日本は誤まっている、反省して謝罪せよ
と迫ります。大東亜戦争があったのは歴
史的事実です。しかし、日本が悪で連合
国が正しいとは言えません。大東亜戦争
の歴史認識は勝者と敗者で異なるのは当
たり前で相手の国に「お前の歴史認識は
誤まっている。反省して謝罪せよ」とい
うのは勝者の傲慢にほかなりません。

アメリカも勝者の驕りがあるようです。
それにしてもシナ・コリアの最近の振る
舞いは度が外れています。さすがにおと
なし日本も堪忍袋の緒が切れかかって
いるように見えます。そんなことを考え
ながら書いて見ました。ご高覧下さい。
~~~~~

**歴史は勝者が作るものか？  
歴史と歴史認識の違い**

広辞苑によると歴史とは「人類社会の  
過去における変遷・興亡のあり様。また  
その記録」とある。実際に起きた大きな  
事件などは人々の記憶に残り、言い伝え  
られ、多くの文献に記録として残されて  
いる。人々の記憶・様々な記録等を通じ、  
実際にどのようなことが起きたのか、さ  
らに後世への影響などを調べ学ぶのが歴  
史なのであろう。

一方、歴史認識とは「過去に起きた出  
来事・事件等についての知識、そしてそ  
の意味を理解すること」と記されている。  
世界的に見ても日本人は記録マニアが多  
いのか大小の事件・出来事について大量  
の記録が残されている。記録を残した人  
により多少の差はあるが、いろいろな記  
録を読むことでその事件の概略、起きた  
原因、社会への影響等を知ることが出来  
る。現在の価値観だけで過去の事件を裁

くのは歴史への冒瀆と言ってもよい。  
まず過去の記録を精査し、整合性のあ  
る事件の全体像を描き、その時生きてい  
た人々の価値観からその善悪を論じなけ  
ればならない。日本の場合は伝統的に過  
去の記録・文献が大切に保存されており、  
歴史認識も実際起きた事柄に対しその意  
味を正しく理解する助けとなっている。

一方、シナ・コリアの場合、歴史は実  
際に起きたことより、その時々々の政治権  
力者の都合のよいように、前の権力者の  
すべてを否定するように描かれるのであ  
る。都合の悪い記録は常に抹殺されて残  
されることはない。  
シナ・コリアと歴史問題を論じる場合  
は、この点に充分留意する必要がある。シ  
ナ・コリア程ではないが、欧米の場合も  
この傾向があることに注意せねばならな  
い。

**現在の日本を支配する歴史認識は**

大東亜戦争に敗れた日本はアメリカを  
主とする連合軍により軍事占領され、7  
年近い間、言論の自由がなく彼らの意の  
ままになる以外の選択肢はなかったのだ  
である。この間、彼等は国際法を無視し、  
彼等が短時間で作った所謂「平和憲法」  
を日本に押し付けたのである。

さらに二度とアメリカに歯向かうこと  
のないよう、彼等にとつて扱いやすいひ  
弱で卑屈な国に日本に変える政策を次々  
に押し付けて来たのである。W G I P  
(註)として知られる計画で日本人の精  
神を破壊したのである。

その極め付きが極東国際軍事裁判であ  
る。「歴史は勝者が作る」ということを恥  
も外間もなく実行したのがこの裁判であ  
る。  
日本側に多くの記録があったにもかか  
らずそのほとんどは証拠として採用さ

れず、連合国に都合のよい証人を探し出  
し、何ら証拠もないのに証言を証拠とし  
て採用したのである。南京大虐殺等、戦  
前日本不在の国際連盟において蒋介石政  
権が2万人虐殺という日本非難の動議を  
出した事実がある。

しかし、反日ムードが強かった当時で  
すら証拠がないということ国際連盟は  
この動議を採択しなかったのである。20  
〜30万人の大虐殺など正気の沙汰では  
ない。  
この極東国際軍事裁判の歴史認識が、そ  
れ以降の日本人の歴史認識を狂わせて来  
たのである。その結果が自虐・反日日本人  
の大量生産につながるのである。しかし、  
時間の経過により日本人の間にこのでた  
らぬ歴史認識反省の動きが出てくるこ  
ととなったのは自然なことであった。ただ  
依然として教育界やマスコミの主流は古  
い歴史認識にしがみついているように見  
える。

**アメリカの狡猾な統治政策**

アメリカのアジア政策で最悪のケース  
は、戦前日本が主張した大東亜共栄圏の成  
立である。日本を中心にアジアの諸国が連  
帯し欧米に対抗するというもの。その為、  
日本が二度とそのようなことを言いたさ  
ぬよう、占領期間中にアメリカはあらゆる  
手を打って来たのである。

竹島や尖閣の領土問題という紛争の種  
もアメリカが播いたと言っても過言では  
ない。覇権国が周辺国を統治する際、覇権  
国が有利になるよう周辺国を争わせるこ  
という Divide and rule(分断して統治する)  
という戦略が取られる。覇権国アメリカが  
周辺国シナ・コリア・日本を統治する際こ  
の戦略をとるのである。このアメリカの戦  
略に我々は如何に対応すればよいのであ  
ろうか。

**日本の取るべき戦略**

シナ・コリアはアメリカの狡猾な戦略に  
載せられ、次々と日本に難題を吹きかけて  
来ている。その際、直接日本に難癖をつけ  
ると同時に、アメリカを味方につけようと  
工作するのである。

アメリカが最も恐れるのは日本人がま  
ともな歴史認識に目覚め、自主独立の国に  
なることで、戦後アメリカが確立した歴史  
認識(日本が悪・邪、アメリカ善・正義)  
に日本が言及しようとするアメリカ力は  
強烈に反発するのである。

アメリカと言っても一枚岩ではない。日  
本の味方を見つけ長い時間をかけ、彼らを  
援助し大きな影響力を持つ勢力に育てる  
ことを考えねばならない。困難ではあるが  
不可能ではない。その為の組織、資金等衆  
知を集め、日も早く立ち上げねばならな  
い。その前に日本人の中にいる自虐・反日  
日本人を無力化しなければならぬ。反日  
マスコミ・新聞の購読を止める、反日NH  
Kの聴取料の不払い等で彼らの糧道を断  
つのが最も効果的ではないかと思う。その  
上で上記のアメリカ工作を実行すること  
である。

アメリカも往年の力はないので、当面日  
本のやることは集団的自衛権を行使する  
等アメリカに協力し、再軍備から真の独立  
国への道を模索せねばならない。少なくと  
も数十年先を見据えた長期戦略を確立し、  
戦後のアメリカ支配の戦後体制から「日  
も早く離脱し真の独立国とならなければ  
ならない。」

(註) W G I P : War Guilt Information  
Programの略、「戦争の罪悪感を日本人の  
心に植えつけるための宣伝計画」この計  
画は大東亜戦争終結後、G I Pによって  
実際に行われ、現在の日本に大きな後遺症  
を残している。

# 新刊書籍の紹介 日本乗っ取りはまず地方から 自治基本条例に反対する市民の会 2014 会長 村田春樹

序文

共産主義などという人類が生んだ汚点は、とっくの昔にオホーツク海の彼方にも消えたものだと思っていた。しかしその考えは間違いであり、今も元気にこの世の中に存在しているようだ。

私は外国人参政権の反対活動を細々とやってきた。平成二十一年(二〇〇九)九月に誕生した民主党政権は、その後三年三月に亘って内政でも外交でもひたすら失政を重ね、私も停滞する日本の政治の惨状に目を奪われていた。しかしある時ふと我に返って地方に目を向けたのだ。すると全国の市町村が共産主義勢力によってとんでもないことになっているという現状に気がついた。

『自治基本条例』という名の日本解体作戦が進行していたのである！

この条例は法政大学の松下圭一名誉教授によって考案されたもので、現在、日本国内の至る所で、サヨク系の学者たちによって推進活動が行われている。そして彼らの巧みなり口に編み込まれてしまう市町村、或いは率先して加担してしまおう市町村が後を絶たない。

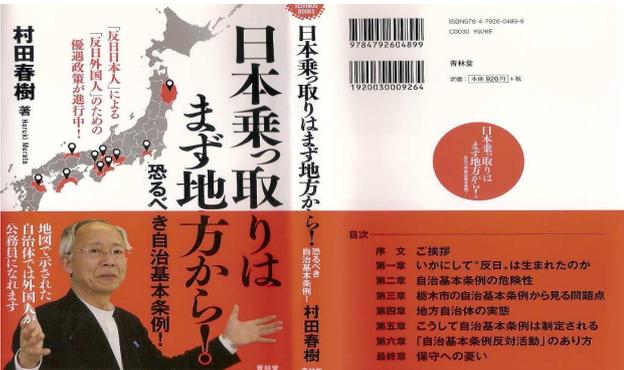
平成二十五年(二〇一三)十二月、兵庫県姫路市では我々の反対活動と、この条例の危険性に気づいた一部の姫路市民の反対活動により、一度は条例の制定が見送られた。その模様は新聞でも報道され、大きな町での勝利だったことから、我々も少し安堵していた。しかし、推進派の連中はすぐに巻き返し、条例の名称を『まちづくりと自治の条例』と改めることに

よって、情勢は一変した。そして平成二十五年(二〇一三)十二月十九日、姫路市議会・総務委員会で採決が取られ、賛成多数で可決。翌二〇日に公布され、同日この条例が施行されてしまったのである。

また同年同月、東京都東村山市議会では条例の制定が見送られようとしていたところが議会最終日の十九日になってとんでん返しがあり修正可決してしまっ

た。我々反対派の活動によって、条例の制定が見送られたとしても、それは時間を稼いだに過ぎないのである。加えて”全国すべての自治体”が、この条例の制定に向けて動いているのだから、ハッキリ言って多勢に無勢なのである。しかも条例を制定させようと活動している連中は、市税を使い、昼間の勤務中に堂々と推進活動できる立場にあるのに対して、我々は暇な時間に自腹を切って反対活動しているのが現状だ。これでは推進派の勢力に太刀打ちできるわけもなく、我々がいくら大きな声を上げたところで、次々に条例が制定されてしまっ

ていくのだ。今日もまた、日本全国のどこかの自治体の市議会においてこの条例が議題に上がり採決で可決されていることだろう。



本書ではモンスター条例の実態を明らかにし、この条例がどのようにして生み出されたのか誰が推進しているのか、そして貴方の住む自治体で制定されてしまったらどうなるのか、その詳細を記している。尚、本書では、これからの日本を担う若者にも、条例の恐ろしさに気づいてもらいたいという願いを込めて、可能な限

## 活動資金の協力をお願い

【ご支援等の口座】  
郵便振替 0008082450004 MASUKI情報デスク  
三菱東京UFJ銀行 五里支店 00439 普通 増本重夫

先ずは、平素より私どもの活動に力強いご支援を賜り心から御礼申し上げます。このレポートにもありますように、私どもは子供達に誇りある国を残すため、日々命がけで戦っています。ところが問題は活動資金。今まで以上にがんばります。何卒資金のご協力を伏してお願ひ申し上げます。

- ・ M情報がサポートしている主な団体
- ・ NPO法人百人の会
- ・ 救国会大阪
- ・ 秋田美輪さんを救出する川西市民の会
- ・ 米国に原爆投下謝罪を求めると
- ・ スパイ防止法の制定を求める会
- ・ 日教組の違法行為を追及する会
- ・ 竹島を奪還する会・関西
- ・ 靖国神社に眠る御霊に感謝する会
- ・ 大阪の公教育を考える会、他

## 原稿・同封資料の募集について

弊会『M情報活動報告』は現在のごく毎月全国約5千(目標1万)部発送しております。掲載ご希望の論文、情報等ございましたらごんごん表記事務所まで

## 諸情報のメール配信について

『M情報』では、日々、全国各地の仲間から、または情報収集の専門家から情報を送られてきます。それをメールで転送します。内容はごよりも詳しく多種多様。「量が多過ぎるお叱りを受け」